

指定管理施設の管理運営状況にかかる評価表

【 令和6年度分 】

施設名	ひらた健康福祉センター障がい者福祉部門	施設所管課	福祉推進課
指定管理者	社会福祉法人ひらた福祉会	指定管理期間	令和3年04月01日 から 令和8年03月31日 まで

1. 総合評価

市	【優れていると評価した点】 施設見学会や研修受け入れ等を積極的に行い、利用者の確保に努めるとともに、重度障がい者及び医療的ケアが必要な方々が利用しやすくなるように、各専門職を手厚く配置し、サービス向上に努めている。 施設の維持管理についても適切に行っている。
	【改善すべき点】 近年、障がい程度の重い利用者が増加傾向にある。これに伴い、より専門的な支援を提供できるよう、職員の更なるスキルアップに注力していただく必要がある。引き続き利用者の意見を取り入れ、安定したサービス提供体制の維持・確保に努めていただきたい。
指定管理者	【優れていると評価した点】 養護学校からの現場実習を積極的に受け入れた。1名の新規利用者を受け入れた。身体障がい者の方が利用しやすいよう、看護師3名、理学療法士1名の専門職を手厚く配置した。また、平田地域のみならず、出雲・大社地域からの利用ニーズにも対応できるよう送迎の工夫を行った。給食は、障がいによる身体状況に応じた形態の食事を提供した。
	【改善すべき点】 重度の障がいのある方の利用希望が増えていることから、個別のアセスメントを丁寧に継続的に行い受け入れ体制を強化する必要がある。

2. 施設利用について

総括	HPやパンフレットによるPRのほか、養護学校からの現場実習、保護者見学の受け入れ等を積極的に行い、新規利用者の確保に努めた。
----	--

(1) 収支状況の推移（自主事業を含む）

（単位：千円）

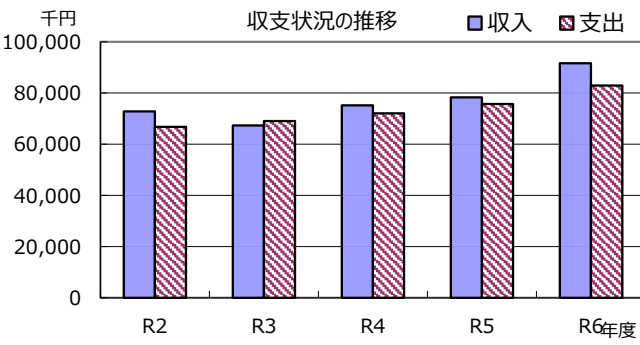
施設の収支	項目	R2	R3	R4	R5	R6
	収入	72,786	67,349	75,142	78,299	91,660
	うち指定管理料	0	0	0	0	0
	うち利用料	1,417	1,360	1,457	1,449	1,498
	その他	71,369	65,989	73,685	76,850	90,162
	支出	66,750	69,014	72,016	75,717	82,978
	差引	6,036	△ 1,665	3,126	2,582	8,682

＜上記以外の市の収入、支出＞

（単位：千円）

市の収支	項目	R2	R3	R4	R5	R6
	収入（使用料）	1,557	1,865	2,279	2,180	2,320
	支出	6,667	6,971	8,265	8,295	8,454
	うち修繕費	0	0	105	545	0

※大規模修繕を除く

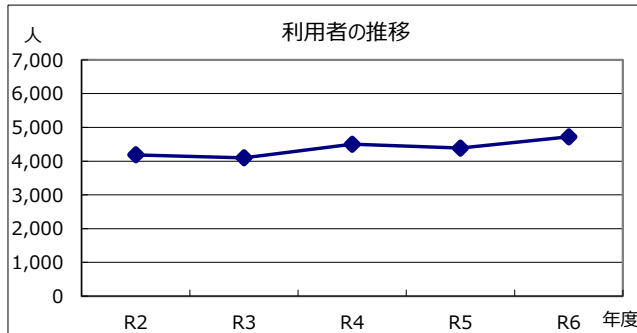


収入増・コスト削減に関する取組
主な収入は介護給付費・地域生活支援事業給付費。主な支出は人件費である。障害者総合支援法に基づいた人員配置に加え、障がいの重度化や高齢化に対し手厚い人員の配置をしているため、人件費の削減は難しい。
【管理経費削減の取組】 利用者の体調に配慮しながら、空調の温度設定を行った。電気・水道も含め使用後の点検を強化し、光熱水費の削減に努めた。

(2) 利用者の推移

(単位：人)

利用者	R2	R3	R4	R5	R6
	4,188	4,097	4,501	4,386	4,721



利用者の増に向けた取組・利用の動向

HP、パンフレットによる施設PRのほか、養護学校からの現場実習、保護者見学の受け入れを積極的に行った。

(3) 利用者アンケート

アンケートの実施状況

3月1日～3月31日に実施。

回答数	職員の対応・マナー・説明、施設管理・サービス	主な意見（問題点）・対応（効果）
25 件	①非常に良い	10 件 40.0 %
	②良い	11 件 44.0 %
	③ふつう	3 件 12.0 %
	④悪い	1 件 4.0 %
	⑤非常に悪い	件 0.0 %
		【意見】車内に左手でつかめる箇所がほしい。 【対応】筒状で安定した器具を設置した。 【意見】外出したい、買い物に行きたい。 【対応】外出日を固定しないで1週間程度の期間を決めて、朝礼で参加者を募り車輛と人員体制を整えて実施した。 【意見】リハビリを希望する。 【対応】理学療法士がリハビリ計画書を家族や主治医の意見を聞いて作成し、状態の変化に応じて随時、家族や主治医に情報提供を行いながら実施した。

(4) 住民サービス向上の取組・事例

- ・看護師より、医療状況のアセスメント、処置の見直しを行い効率的、安定的な処置を行うことができた。
- ・苦情窓口を設置し、日常的に苦情の受け入れと迅速な対応を行った。

3. 自主事業について

総括	利用者のニーズに応え、日中一時支援事業を実施した。
実施状況	利用者は延べ711名。生活介護サービス利用時間前後の利用が増加した。

4. 施設の維持管理・安全対策について

- ・設備等の保守点検を計画通り実施し、安定した施設運営ができている。
- ・危機管理マニュアルにより、緊急時の責任者・連絡体制を定めている。
- ・利用者を主体とした災害避難自主訓練を年3回実施した。

5. 職員（従業員等）の接遇・研修について

- ・年度はじめに全職員に対して接遇研修（OJT）を行った。日々、接遇マニュアルに基づき、職員の接遇を職員会議等で確認を行った。